

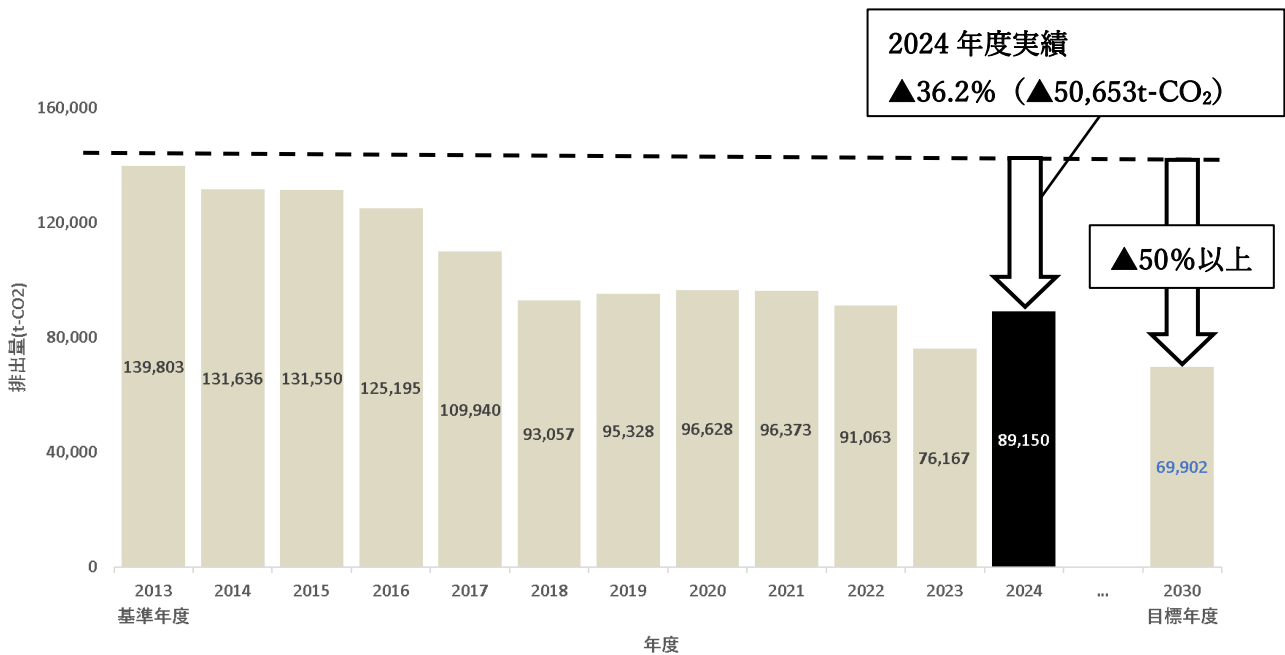
## 2024年度の排出量は2013年度比36.2%減 ～京都府の2024年度温室効果ガス排出量について～

- 「府庁の省エネ・創エネ実行プラン（第2期）」において、温室効果ガスの排出量を2030年度までに2013年度比で50%以上削減することを目標としています。
- 2024年度の排出量は89,150トンであり、前年度比で17.0%増、2013年度比で36.2%減となりました。

### 1 京都府庁からの温室効果ガスの排出量

[単位：t-CO<sub>2</sub>]

	2013年度 (基準年度総排出量)	2023年度 (前年度)	2024年度 (報告年度)	増減	
				基準年度比	前年度比
温室効果ガス 排出量	139,803	76,167	89,150	▲36.2%	17.0%



温室効果ガスの排出量の推移

温室効果ガス排出量の内訳

[単位：t-CO<sub>2</sub>]

施設種別	2023年度	2024年度		
	排出量	排出量	前年度比較	
			増減量	増減率
本庁舎 広域振興局	6,764	8,352	1,588	23.5%
上水・下水	24,899	28,954	4,055	16.3%
府立学校 警察本部・警察署	23,941	26,448	2,507	10.5%
指定管理等施設 <sup>1</sup> その他施設 <sup>2</sup>	20,563	25,396	4,833	23.5%
合計	76,167	89,150	12,983	17.0%

2 温室効果ガス排出量の主な増減要因

- LED化・空調機器の更新・空調の省エネ運用に加え、化石燃料から電気へのエネルギー転換といった取組により、多くの施設でエネルギー消費量の削減がみられました。
- エネルギー消費に伴う温室効果ガス排出量のうち、約6割は電力の消費によることから、電気のCO<sub>2</sub>排出係数<sup>3</sup>の増大（約22%増）により、全体として前年度から排出量が増加しました。

電気のCO<sub>2</sub>排出係数（加重平均）

[単位：kg-CO<sub>2</sub>/kWh]

	2023年度	2024年度
電気のCO <sub>2</sub> 排出係数 (加重平均値)	0.297	0.362

3 エネルギー消費量

エネルギー消費量の内訳

[単位：GJ]

	本庁舎 広域振興局	上水・下水	府立学校 警察本部 警察署	指定管理等施設 その他施設	合計
2023年度	104,181	647,645	481,224	493,956	1,727,006
2024年度	103,103	628,079	470,213	520,085	1,721,480
増減	▲1,078	▲19,567	▲11,011	26,129	▲5,526
	▲1.0%	▲3.0%	▲2.3%	5.3%	▲0.3%

注：四捨五入の関係で、各欄の値の合計と合計欄の値が一致しない場合がある。

<sup>1</sup> 「指定管理等施設」：京都府府民総合交流プラザ、けいはんなオープンイノベーションセンター、京都文化博物館、山城総合運動公園、京都府立京都学・歴彩館など。

<sup>2</sup> 「その他施設」：洛南病院、京都府立植物園、中小企業技術センター本所、保健環境研究所、京都府警察学校など。

<sup>3</sup> 電気のCO<sub>2</sub>排出係数は、1kWhを発電する際に排出される二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）量を示す数値（電気消費によるCO<sub>2</sub>排出量＝電気消費量×CO<sub>2</sub>排出係数）

#### 4 今後の主な取組予定

- エネルギー消費量の多い施設（下水道）を中心に設備更新等を実施
- 省エネ設備（LED化・空調等）への更新
- 新築や建替予定の建物について ZEB 化等を実施
- 京都府環境マネジメントシステム（エコオフィス活動）の継続実施  
（冷暖房の適切な温度設定、こまめな消灯、ペーパーレス化の推進等）